

企業名： オーエスジー

レポート名： OSG レポート 2020

## 1. この会社が目指す姿が理解できるか

はい、理解できる。

### (1) グローバル生産体制の再構築

OSG 会社はグローバル視点で生産体制を整え、稼働率の向上と生産性の最大化を目指す取り組みを進めている。具体的には、工場の規模に合わせた生産品目の見直し、省人化・無人化の設備拡充、IT を活用した情報の集約とプロセスの一元管理など、全体最適への取り組みを強化していく。

### (2) 持続可能な社会の発展に向けて

会社は持続可能な開発目標の考え方を取り入れ、事業活動を通じて会社の持続的な発展に貢献していくことを目指して ESG 経営に注力している。

環境については、地球環境の保全が人類共通の重要な課題であることを認識し、環境活動の理念である「環境に優しい製品づくり」に基づいて、長寿命のもので省資源化に貢献する製品づくりや、資源の効率的な利用に積極的に取り組んでいる。

### (3) 財務資本戦略について

2021 年 11 月期において財務戦略の核となるのは、中長期的な視野に立った財務体質、経営基盤の強化である。目標として、設備投資予算 60 億円、連結フリーキャッシュフロー 110 億円を掲げており、コロナの影響を鑑みて設備投資等の支出を抑え、2022 年 11 月期以降に再度投資を活性化させるべく、キャッシュポジションの回復を図りたいと考えている。

## 2. この会社の競争優位性が理解できるか

はい、理解できる。

会社は社会問題について、環境と社会の二つ視点から、自社の競争優位性を作り上げた。オーエスジーでは、工具の材料調達をはじめ、生産設備、工具の耐久性を高めるコーティングを独自に開発・製造している。これら垂直型のバリューチェーンを基盤とすることで、アフターサービスを含めた高付加価値製品の供給を可能にしている。工具の材料、設備と工具の生産は、全て自社で垂直型のバリューチェーンのモデルだから、自社の工具や設備が自社で生産するしかできない、他社の置き替えが簡単にすることができない。これはオーエスジーの競争優位性と思う。

### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

はい、理解できる。

オーエスジーは INPUT(事業資本) と OUTPUT(財務資本) の2つ視点から、企業の競争優位性に持続性があると思う。まず INPUT は、会社のブランドはトップの世界シェア 30%以上で、世界中非常に強力である。製造拠点は世界 17 カ国があり、販売拠点世界 33 カ国がある。さらに、研究開発拠点世界 7 カ国であるし、連結グループ会社も 75 社もある。つまり、会社は世界中で極めて活躍している、連結従業員 7173 名がいる規模がかなり大きい企業である。次は OUTPUT で、会社売上高 1043 億円、営業利益は 83 億円があるから、企業の経営実績が優秀だと思う。そして、海外売上高比率は 59.4%を占める、つまり、OSG は海外を拠点として、国際的な大手企業である。こんな大手企業は自社の競争優位を保つことができやすい。

### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

達成できると思う。

オーエスジーは従業員に対して、会社と個人の成長を両立する企業風土の構築をしている。会社には、卓越したマネジメントの視座により育まれてきたこの企業風土を維持・発展させていく。オーエスジーの従業員はただ仕事だけではない、個人的な成長と未来の技術・地域社会への貢献も重視している。会社は日本の技能五輪という大会を積極的参加し、将来の日本を支える青年技能者育成や「ものづくり」の大切さを知ってもらうことが目的で、技能レベルの日本一を競争する。さらに、技能五輪国際大会もサポートし、参加各国の青年技能者の国際交流の目的とし、現場の指導や大会の運営管理などの事業を積極的に行っている。

### 5. 報告書にはどのような改善余地があるか

特にないと思う。

オーエスジー2020年のレポートには、字だけではない、図とデータも含めて、会社の特徴が極めてわかりやすいし、明確的な読者に伝わった。私は読者として、この会社の営業実績や特徴などの情報ははっきりわかった。